

現地の法律、人、習慣 について

滞在に関する情報とアドバイス

日本では当たり前と思っていることが渡航先ではマナー違反となることも多々あります。留学中は、渡航先・日本

両方の法律を守って生活してください。

海外渡航する際は、「国によって法律は異なる」ということを意識することが大切です。



◆きちんと相手の目を見てあいさつをしよう

室内に入るときには声をかけましょう。

例：エレベーターに乗り合わせた時、レストランに入る時、お店にはいる時、飛行機に乗る時など、「Hello.」と挨拶を心がけましょう。※無言はマナー違反です

◆身体的特徴を話題にしない

万国共通事項として、目、髪、肌の色など、身体的な特徴について話すことがタブーになる可能性があります。頭や顔が小さい、鼻が高い、身長が高いなども同様です。

日本人は褒めるつもりで話題にしがちですが、相手がそれを褒め言葉と受け取らないこともあります。相手が男性でも女性でも、まだ信頼関係を築けていない初対面のケースにおいては、特に注意するよう気遣いましょう。



ACEJ

一般財団法人 JSAF
Global Language Education

渡航先の人々の好意に応えるため、以下の事を守ってください。

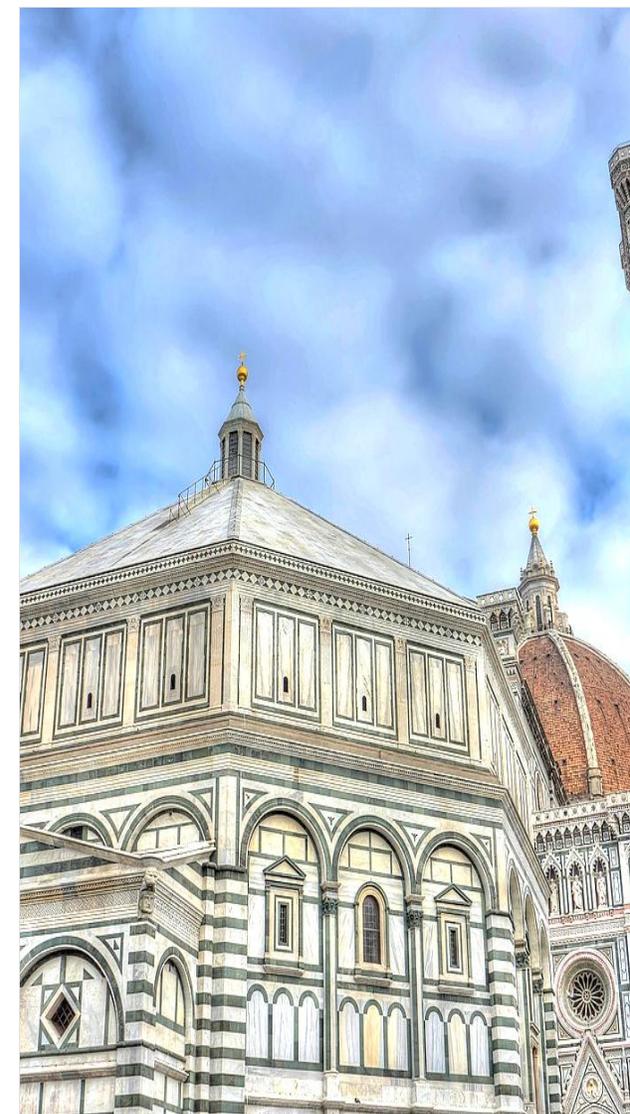
- 現地の習慣や伝統を尊重すること。
- 教会やその他神聖な場所では適切な服装をすること。

観光スポットとなっても、礼拝する人の妨げにならない行動を心がけるようにしましょう。服装は基本的に露出を避けてください。神聖な場所のため、ビーチサンダル、ノースリーブ、ミニスカート、ショートパンツなどの格好は不適切とされていることが多いので、長袖、ロング丈のボトムスを用意しましょう。大判のストールも便利です。また、写真撮影の可否も確認してください。フラッシュ撮影は基本的に不可。私語を控え迷惑にならないようにしてください。

- 公共物や私有地を尊重すること。

ビーチに行かれる場合

- ビーチを離れる際は、トップス、またはTシャツを着用してください。水着で路上に出ることはできません。
- ごみは、所々に設置されているごみ箱に捨ててください。可能な限り清潔で整備された街を維持することにご協力ください。



ACEJ

一般財団法人 JSAF
Global Language Education

身の安全のために

- ヒッチハイクはしないでください。移動には、通学先の学校から提供されているバスや車、公共の交通機関、認可を受けているタクシーをご利用ください。
- 夜間に知らない地域を一人で歩かないようにしてください。
- 観光地でも夜間に一人にならないようにしてください。（ビーチや観光名所など）
- プールやビーチに行かれる際は、不必要なリスクを冒すことは避け、高い所からの飛び込みをしないでください。非常に危険です。
- 交通ルールが日本と大幅に異なる場合が多々あります。身の安全のために、渡航先と日本両方の交通ルールに関する規則を守ってください。
- 道を渡る時は、必ず横断歩道または歩行者用信号のある場所で渡ってください。道を渡る前に、車が停止したことを確認してください。
- 道の真ん中ではなく、必ず歩道を歩いてください。道の真ん中を歩くと、車の走行の妨害となり、身の安全が危険にさらされる恐れがあります。
- 信号待ちなど、道に立っている場合は、道路を利用する他の方や歩行者の方の邪魔にならないようにしてください。



ACEJ

一般財団法人 JSAF
Global Language Education

他の学生と出かける場合は、自分がACEJおよび、語学学校のグループの一員であることを自覚してください。

無関心・無頓着な態度は、他の学生の迷惑や妨害となります。以下の点に注意してください。

- 時間を問わず、路上や公共の場では騒音を立てないでください。
- ヨーロッパなど一部の人々が昼寝（シエスタ）をしていることがありますので、午後（午後1時～4時）は、大音量で音楽をかけないでください。また、寝る前に落ち着いた時間を過ごしているご家庭がありますので、夜の時間も大音量で音楽をかけないでください。
- 予期せぬ損害を防ぐため、他人の家の敷地で休んだり、道路に駐車されている車によりかかったりしないでください。
- リゾート地域などは特に暖かい気候なのでリラックスした気分になり、安全であると簡単に感じられる場合もありますが、他の旅行先と同様、ご自身の持ち物に気を配る必要があります。
- 常に貴重品（お財布、小銭入れ、携帯電話、音楽プレイヤー、等）を放置しないでください。
- 大金を持ち歩かないようにしてください。



ACEJ

一般財団法人 JSAF
Global Language Education

◆警察とのトラブルに巻き込まれないようにする方法

注意事項 • 基本的にどの国でも公共の場での飲酒/喫煙は禁止されています。

- 滞在中に違法薬物/物質を所持していることが判明した場合、法的措置や強制送還になります。
- 未成年のアルコールの購入や飲酒はできません。※国によって飲酒ができる年齢が異なります。渡航先、日本両方の法律を守ってください。
- 路上でのアルコールの飲酒はおやめください。
- ナイフなど、武器の類を携帯することは違法です

◆スマホでの撮影に注意

例：空港や地下鉄を撮影しない

特にヨーロッパなど、海外では空港や地下鉄の撮影が禁止されている場合もあります。（機密情報の流出を防ぐために撮影が禁止されているケース等）

そのため、何も知らずに撮影していると、警備がやってきて警告を受けるおそれがあります。撮影データの消去などを求められますので、最初から撮影が可能かどうか確認しておくようにしたいものです。

ショッピングモールや、カフェ、お店などでも、勝手に撮影をするとお店の方に失礼な印象を与える場合があります。必ず一言許可を得てからにしましょう。

※現地では、勝手に人の写真を撮らないことを日本以上に気を付けて下さい。

特に子どもの写真撮影は親が神経質になることもあります。



ACEJ

一般財団法人 JSAF
Global Language Education

その他各国の制度などについては、各自オリエンテーションハンドブックを熟読して準備を進めて下さい。

ACEJ参加生専用ページはこまめにチェックをしてください。

